



地域に暮らす人々と共に心あたかな医療をすすめたい

特集

糖尿病とフットケア

- ▶ GO! 臨床研修医
- ▶ 現場の Expert 栄養サポートチーム (NST) 専門療法士
- ▶ 看護部だより 心に残っている先輩看護師からの教え
- ▶ 教えて! 健康コラム 健康 (心臓) のための十の食生活
- ▶ トピックス 応援旗をご寄贈いただきました 他
- ▶ インフォメーション 循環器系の治療の幅が広がりました 他

2022

8

月号

公立八鹿病院基本理念

私たちは、地域中核病院として、医の倫理を基本に、質の高い医療と優れたサービスをもって、住民の健康を守り、地域の発展に尽くします。



糖尿病・フットケアチームメンバーと内科主治医が糖尿病治療中の患者さんについてカンファレンスするようす

糖尿病とフットケア

足の健康を保ち、歩行できる足を維持するために

糖尿病について

近年、生活習慣の変化などにより糖尿病患者さんが増加しています。

糖尿病は、インスリン(すい臓から出るホルモン)が十分働かないために血糖(血液中に含まれるブドウ糖という糖)が増えてしまう病気です。血糖の濃度(血糖値)が高いまま放っておくと、血管が傷つき将来的に脳梗塞や心臓病・血管病、失明、腎不全など、より重い合併症につながってしまいます。

神経障害による足のトラブルは重症化しやすい

合併症の中でも最も頻度が高く早期から出現するものに、糖尿病神経障害があります。糖尿病神経障害は、高血糖の状態が続くことで手足の神経に異常をきたし、足や手の指に痛みやしびれなどの感覚異常が現れます。慢性的な知覚低下や血流低下の結果、足潰瘍や足壊疽となり、最悪の場合、足の切断となる場合があります。

重篤な足病変への移行するリスクを

Point 1

糖尿病の進行を予防する専門性を活かしたチーム医療の実践

当院では糖尿病専門医に加え、糖尿病療養指導士や皮膚・排泄ケア認定看護師、フットケア研修を修了した看護師など専門資格を持つスタッフが在籍しています。これらのスタッフがチームとなり、専門知識や技能を活かしながら糖尿病患者さんの最適な治療や生活面(食事や運動など)の教育・支援をおこなうことで、血糖の最適なコントロールや合併症予防をめざして糖尿病と診断された初期の段階から介入しサポートしています。



主な活動内容

- 糖尿病患者さんへの血糖コントロール
- 栄養指導や運動療法のアドバイス
- 自己注射や血糖自己測定の指導
- 最新の医療機器(血糖測定やインスリンポンプ治療など)を使用した治療の支援
- 糖尿病のことを知ろうまく付き合うことを目的とした「糖尿病教育入院」や「糖尿病教室」の実施 ※糖尿病教室は現在休止中
- 療養上の不安や悩みの相談
- 自宅療養で自己管理が難しい方へのサービス調整(ケアマネジャー・訪問看護・かかりつけ医など)
- フットケアや療養方法についての指導(院内スタッフ・外部施設(介護施設など))

など



管理栄養士による栄養指導の様子。食事状況の確認や血糖値が上がりにくい食べ合わせなどをアドバイスします。



お腹に針を刺すインスリン自己注射の指導の様子。薬剤師が丁寧に指導します。



入院患者さんの治療・ケア内容を検討するカンファレンスや定期的に委員会での意見交換し、患者さんの治療やケア内容をよりよいものにしていきます。



院外の施設職員にフットケアをレクチャーする様子。

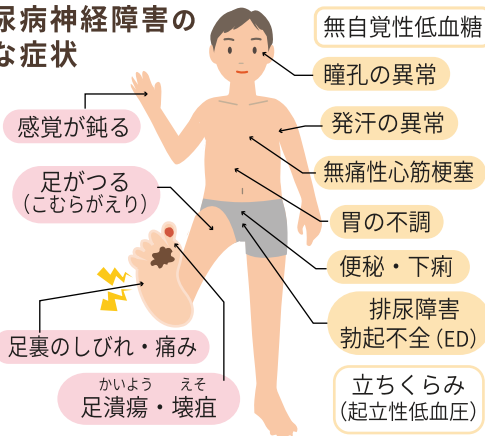
八鹿病院では、糖尿病と診断された方に対して重篤な合併症への移行を阻止するべくさまざまな取り組みをおこなっています。今回は、糖尿病とフットケアに焦点をあて、ご紹介します。

減らすには、足の状態を日頃からチェックし、足や爪の変形、水虫など足のトラブルに対する適切なケア（フットケア）をおこなうことがとても大切です。

自律神経障害

糖尿病神経障害の主な症状

感覚・運動神経障害



糖尿病の合併症の発症・重症化を防ぐために

糖尿病の治療は、早期診断・早期治療はもちろんのこと、合併症の発症と進展および重症化を予防するために、血糖をしっかりコントロールすることが大切です。

当院では、糖尿病患者さんが足の健康を保ち、自分の足で歩きつづけるために、糖尿病とフットケアに力を入れ、さまざまなことに取り組んでいます。

Point 2 各部門との連携で足病変を防ぎ、適切な治療やケアに繋ぐ

糖尿病の足病変はさまざまな因子が合わさって発症するため、多くの診療科や部門が連携していく必要があります。当院では総合病院の特徴を活かし診療科・各部門と連携し、患者さんが適切な治療やケアをスムーズに受けられるような仕組みを考え実施しています。

動脈硬化・血流が悪い

傷が治りにくい、足の血管が狭くなったり詰まったりする

- ▶ 血流が悪くなる病気（PAD：末梢動脈疾患）の診断・検査（放射線科）
- ▶ MRI など画像撮影や血流を評価する検査（ABI）などの実施（画像診断科・検査科）
- ▶ カテーテル治療やステント留置などの血行再建手術、薬物療法（循環器内科・血管外科）など
※必要時は他院へ紹介

足（皮膚）トラブル（キズ・潰瘍・壊疽）

神経障害によりタコや水虫など傷の悪化があっても気づきにくい

- ▶ 化膿、爪周囲炎、真菌（カビ）感染の治療や壊死組織の除去などの創傷処置（皮膚科）
- ▶ 糖尿病性腎症患者さんの透析時に定期的な足のチェック（透析センター）
- ▶ インソール・装具の相談、壊死組織の除去など（整形外科）
- ▶ 足の状態チェックや適切なケアを実施（フットケア外来） など

神経障害で歩きにくい

歩行姿勢の悪化や合わない靴に気づかず足トラブルを招きやすい

- ▶ リハビリで歩行姿勢の改善、最適なつづの相談（リハビリテーション科） など

抵抗力低下

菌に感染しやすく傷が化膿しやすい

- ▶ 血糖コントロール（内科（糖尿病・内分泌））
- ▶ 栄養管理（栄養管理科） など

放置すると…
かいよう えそ
潰瘍・壊疽
に悪化

Point 3 フットケア外来で、足病変の予防的ケアをおこなう

フットケア外来では、皮膚・排泄ケア認定看護師を中心にフットケア研修を修了した看護師が、足の状態を細かくチェックします。足病変の早期診断・早期治療に繋がったり、患者さんの日常生活にそったケア方法を一緒に考えます。

フットケア外来の受診をご希望の場合はご相談ください。

（お問い合わせ）

〔通院中の方〕 各診療科 〔初診の方・通院していない方〕 地域医療連携室



研修に励む
研修医を紹介！

GO! 臨床研修医

当院の研修医は、指導医のもと外来・入院診療や地域医療について学んでいます。2年かけて幅広い診療に対応できる医師となるため、日々研修に励んでいます。



外科手術に入り、学んでいる小田垣医師（写真中央）

1
年次

八鹿病院にて、内科・外科・救急医療を中心に学んでいます

小田垣 徹大 医師

出身地：兵庫県西宮市
趣味：バレーボール、ゴルフ



◆医師を志したのはどうして？

とくにきっかけはなく、周囲の同級生と共に勉強していたら目指すようになっていました。

◆研修をおこなってみて、いかがですか？

毎日勉強ですが、指導医の先生の下で有意義な時間を過ごしています。

◆初めて患者さんと接した時の感想は？

医学生時代の実習から話をしっかり聞いていただいたり、「先生」と言われるので違和感がありました。

◆今後の豊富・メッセージをどうぞ

まだまだ未熟者ですが、今出せる最大限を出しながら成長して参ります。至らぬ点が多々あるかと思います。できれば健康で病院でお会いしないことが理想ですが、担当になったときはよろしく願いいたします。

佐藤 瑞季 医師

出身地：兵庫県養父市 趣味：ピアノ、犬の散歩

◆医師を志したのはどうして？

当院の緩和ケア病棟に祖父がお世話になり、看護師さんに手を握ってもらい安らかな顔で亡くなった祖父を鮮明に覚えています。人の生死と誠実に向き合う仕事につきたいと思い医師を志しました。

◆研修をおこなってみて、いかがですか？

生死に関わる医師という仕事がどれだけ責任のある仕事かということを日々実感しています。

◆初めて患者さんと接した時の感想は？

気さくで優しい患者さんでしたので、たくさんお話することができ多くのことを学びました。

◆今後の豊富・メッセージをどうぞ

まだまだ未熟ではありますが、指導してくださる先生方を目標に日々努力していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

「研修医サポートチーム」活動中！



医学部卒業後、病院勤務が初めての研修医（1年次）が業務を円滑におこなえるよう、医師・看護師・専門スタッフがチームとなりサポートしています。

各メンバーは医療現場における役立つ情報の提供（情報的サポート）や、悩みや困りごとに対して話を聞く・相談しやすい関係づくり（情動的サポート）を心がけ、定期的なミーティングや現場で直接サポートし意見交換することに取り組んでいます。



佐藤医師とサポートチーム。和やかな雰囲気
でミーティングがおこなわれていました！

2
年次

より専門的な診療や地域医療を重点的に学んでいます

2年次では地域医療研修、精神科研修等の必修科目以外は自由選択枠とし、院内はもちろん連携する神戸大学医学部附属病院や公立豊岡病院等の院外でも研修をおこなっています。興味がある診療科を中心に医師3年目の独り立ちに向けて、知識・技術の向上を図るべく日々努力しています。



渡邊 敬介 医師



松田 琢磨 医師

現場の Expert エキスパート

File.18

栄養サポート チーム(NST) 専門療法士

NST 専門療法士とは？

日本臨床栄養代謝学会の認定資格です。当院では管理栄養士、看護師、薬剤師といった栄養治療に関わる専門職が取得しています。低栄養状態(※)の入院患者さんに最良の栄養管理をおこない疾病の治癒や合併症の予防を目指します。

資格を取得したきっかけ

栄養治療について学びを深め、栄養サポートチーム(NST)に入り栄養面から患者さんの早期退院への援助がしたいと考えました。

低栄養状態…体を動かす・作るために必要なエネルギーや栄養が不足している状態

管理栄養士
足立 貞子



日々取り組んでいること

■ 介入すべき低栄養状態の方を早く見つける

当院では、すべての入院患者さんに管理栄養士が基本的な栄養管理をさせていただいています。しかし、次のような場合には特に低栄養状態になりやすく、NSTチームの専門的な栄養管理が必要です。

持続する食欲低下や体重減少、口から食べる機能が低下することによる栄養不足、がん治療による副作用、消化器系や骨折の手術後、褥瘡がある、胃ろう栄養による下痢などのトラブル時など

低栄養状態のままでは、体力や筋力、免疫力が低下し、治療効果がうまく発揮されないこともあります。私たちは、栄養に関わる血液検査の数値を確認して低栄養状態の患者さんを発見し、栄養状態改善に繋がっています。

■ 栄養サポートチームでの活動

週1回チームで集まり、それぞれの専門的立場から患者さんの栄養面に関して最適な方法を話し合います。治療に関わることは医師、患者さんの状態やケアに関することは看護師、薬や点滴のことは薬剤師、食事や経腸栄養剤に関しては管理栄養士が意見を出します。食事内容や栄養剤、薬剤などの確認や調整をして栄養状態の回復を目指します。

■ 今後の目標、大切にしたいことは？

患者さん中心の医療であることを忘れず、患者さんの声をしっかり聴くことを心掛けていきたいです。また、言語聴覚士とこまめに連携をとりながら、患者さんが安全に口から栄養が摂れるようなステップアップの実現に努力していきたいと思っています。

心に残っている先輩看護師からの教え

手術部 看護師 小田垣 晶磨

かんごぶ 看護部だより

私は入職してすぐに手術室に配属となりました。その頃、先輩から言われたことが今も心に残っています。手術に入られた患者さんの緊張した表情に気がついた先輩は「大丈夫ですよ」とすぐに声をかけ、気持ちを聴いていました。話を聴いてもらった患者さんは安心した表情に変わり、落ち着かれたようでした。

先輩からは、「患者さんは今、どんな気持ちか分かる？患者さんの気持ちをしっかりと聴くことは看護師の仕事だよ。」と教えられました。

その後、経験を積み今年で6年目となります。今では患者さんの病気の状態だけではなく、思いを理解することを意識して関わることでできるようになり、後輩にも



医師に器具を手渡す小田垣さん

学びを伝えていきます。手術の後に、「安心して手術が受けられました。ありがとうございます。」と感謝の言葉をいただくこともあり、仕事のやりがいとなっています。これからも患者さんに寄り添える看護師を目指していきます。

医療のスペシャリストが
伝授する教えて！
健康
コラム**健康（心臓）のための
十の食生活**

公立村岡病院 院長 石田 長次



昨年十一月に、米国心臓協会が心血管の健康増進のための指針を発表しました。これは、心疾患だけではなく全般的な健康増進に役立ちますので、以下に抜粋します。個々の食品や栄養素を気にするのではなく、バランスの良い食生活のパターンが重要だと強調されています。皆さまの健康増進の参考にしてください。※は筆者注です。

一、健康的な体重を達成および維持するために、エネルギーの摂取量と消費量のバランスを調整する。

※痩せすぎも太りすぎもよくありません。

二、さまざまな果物や野菜を食べる。

※腎臓疾患の方は制限されることがあります。

三、全粒穀物の食品および製品を選択する。

※日本では玄米、雑穀、全粒粉食品等です。

四、健康的なたんぱく質を摂取する。（主に植物性たんぱく質、魚介類、低脂肪または無脂肪の乳製品）。肉や鶏肉が必要な場合は、赤身と未加工品を選択する。

五、常温で液体の植物油を使う。熱帯植物油脂

（パーム油等）、動物性脂肪（バターやラード）、部分水素添加油脂（トランス脂肪酸の多い油）は避ける。

六、超加工食品のかわりに、加工の少ない食品を選択する。

※超加工食品の定義がまだはっきりしていません。また超加工食品にも健康的な食品もあります。

七、砂糖を加えた飲料や食品の摂取を最小限に抑える。

八、塩分を含まないか、ほとんども含まない食品を選択する。

九、アルコールを飲まないか、飲む場合はなるべく減らす。

十、自宅食でも出前食や外食でもこの指針を守る。

※病気ををお持ちの方はこれらが当てはまらないことがあります。担当医等の指導を優先してください。

**6/8 後藤院長と研修医が「毎日
元気にクラス教室」に参加**

6月8日水曜日、上薮崎公民館において「毎日元気にクラス教室」（養父市・養父市シルバー人材センター主催）が開催され、当院から後藤院長と研修医2名が参加させていただきました。この日は



参加者と一緒に、「やぶからぼうたいそう」や「筋力運動」「コミュニケーションゲーム」などをおこないました。笑い声が絶えない素敵な時間を地域の皆さまと共に過ごすことができ、大変良い体験となりました。今後、地域医療のために尽力してまいりたいと改めて感じました。

**7/1 八鹿病院を応援する会より
応援旗をご寄贈いただきました**

応援旗の贈呈式が、7月1日やぶ市民交流広場でおこなわれました。



当日は、同会役員の皆さまと当院長らがコロナ禍での医療対応などについて意見交換したあと、贈呈式で同会守本竜司会長から当院後藤葉一院長へ、色鮮やかなフェニックスとキリンを描き「勇姿をありがとう」とメッセージが込められた応援旗をご寄贈いただきました。

令和4年10月から

初診・再診時の選定療養費が変わります

国の診療報酬改定により、令和4年10月から紹介状を持参しない場合の初診・再診時の選定療養費が変わります。

初診

一律 5,000 円→**7,000 円**
(歯科口腔外科は 3,000 円→**5,000 円**)

再診

一律 2,500 円→**3,000 円**
(歯科口腔外科は 1,500 円→**1,900 円**)

紹介状をお持ちいただければ、選定療養費のご負担はありません

初診で受診の場合、医療機関からの紹介状をお持ちいただくと選定療養費のご負担はありません。

かかりつけ医のない方は、お近くの診療所・クリニックへご相談ください

初診で受診される場合は、
紹介状の持参に
ご協力ください！



選定療養費が必要な場合とは？

当院では、次の患者さんにつきまして、現在初診料とは別に保険外併用療養費(選定療養)をご負担いただいております。

- 初診で紹介状を持参せずに受診される患者さん
- 状態が落ち着き、他の医療機関へ紹介されたあとに当院での診療を希望し受診される患者さん(再診)

選定療養費のお支払いの必要がない場合もあります

- ・近隣にない診療科を受診される方(皮膚科・泌尿器科・産婦人科・麻酔科・放射線科・緩和ケア科)
- ・救急受診の方(緊急やむを得ない場合)
- ・休日・夜間受診の方 など

※ご不明な点は、お問い合わせください。

【お問い合わせ】 医事課

令和4年10月から

一定以上の所得のある方(75歳以上等)の医療費の窓口負担割合が変わります

医療費の窓口負担割合に新たに「2割」が追加され、「1割」「2割」「3割」の3区分へ変更になります。現役並み所得者(窓口負担割合3割)を除き、後期高齢者医療制度の被保険者で一定以上の所得のある方は、医療費の窓口負担割合が**2割**になります。

令和4年9月30日まで

区分	負担割合
現役並み所得者	3割
一般所得者等※	1割

令和4年10月1日から

区分	負担割合
現役並み所得者	3割
一定以上所得のある方	2割
一般所得者等※	1割

被保険者全体の約20%

※住民税非課税世帯の方は基本的に1割負担

※医療費が変更となる対象など、詳しくは各市町にお問い合わせください。

令和5年度

入学生
募集!

専門知識はもちろん“こころ”と“技”を磨き、理想の看護師を目指して私たちと一緒にふみだしましょう。皆様のご応募を心よりお待ちしております。

一般入試

[出願期間] 令和4年 **11/28(月)~12/8(木)**
17時必着

[試験日] 令和4年 **12/17(土)**

※詳しくは、公立八鹿病院看護専門学校ホームページをご確認ください。

【お問い合わせ】 公立八鹿病院看護専門学校 電話: **079-662-6693**

社会人入試

[出願期間] 令和4年 **10/26(水)~11/4(金)**
17時必着

[試験日] 令和4年 **11/16(水)**



大畑医師・応援医師による心臓ペースメーカー植え込み術の様子

心臓・血管 手術やリハビリなど 循環器系の治療の幅が広がりました

●ペースメーカー植え込み術、血管バイパス術を実施しました

大畑医師(循環器)や麻酔科医師・手術室スタッフ協力のもと、当院でおこなえる循環器系の手術が増えました。実際には、新規のペースメーカーの植え込み術(6月から)や、足の末梢血管の閉塞(詰まり)に対して血流を改善させるバイパス術(7月)を実施しました。

●心臓リハビリテーションをはじめます

心不全などの心臓病の患者さんが快適な家庭生活や社会復帰をするとともに再発や再入院防止をめざす「心臓リハビリテーション」の開始を目指して、準備を進めています。当院では、専門知識を持った医師や研修を受けた理学療法士、看護師などがチームとなりケアをおこないます。



7月～

乳腺外来をはじめました

公立豊岡病院組合立豊岡病院からの診療応援のご協力により、乳腺外来を開始しました。乳房について不安やお困りの方は、一度ご相談ください。

【診察日】第1・第3水曜日(予約制)

【担当医】水田 誠 医師(公立豊岡病院組合立豊岡病院乳腺外科部長)

受付・診察 13:30～15:30

公立八鹿病院組合 正規職員募集

その他職員も募集しています! ●看護師(パート職員) ●介護職員(夜勤専従) 他

【募集の詳細・お問い合わせ】公立八鹿病院 人事会計課

電話:079-662-5555(代) Mail:jinji@hosp.yoka.hyogo.jp

	職種・募集人数	受験資格	試験日・申込期日
令和5年4月1日採用	看護師・助産師	28名	昭和53年4月2日以降に生まれた者で資格取得者または取得見込みの者 【試験日】令和4年 ④9月17日(土) ⑤10月15日(土) ⑥11月19日(土) 【申込期日】各試験日の前週木曜日必着
	介護福祉士	2名	昭和53年4月2日以降に生まれた者で資格取得者または取得見込みの者
	理学・作業療法士	3名	昭和59年4月2日以降に生まれた者で資格取得者または取得見込みの者
	言語聴覚士	1名	【試験日】令和4年9月17日(土) 【申込期日】令和4年9月8日(木) 必着
	事務職員 (総合マネジメント職)	2名	平成5年4月2日以降に生まれた者で大学(短期大学を除く)を卒業した者及び令和5年3月31日までに卒業する見込みの者
令和4年度中採用	看護師・助産師	3名	昭和52年4月2日以降に生まれた者で資格取得者 【試験日・申込期限】令和5年度看護師・助産師募集と同じ
	介護福祉士	1名	昭和52年4月2日以降に生まれた者で資格取得者 【試験日】令和4年9月17日(土) 【申込期日】令和4年9月8日(木) 必着
	理学・作業療法士	各1名	昭和58年4月2日以降に生まれた者で資格取得者 【採用日】令和4年11月1日(火) 予定(相談可)
	調理師	1名	昭和56年4月2日以降に生まれた者で調理師免許取得者かつ調理経験のある者

医師異動のお知らせ

【新任医師】

よろしくお願いします

令和4年7月1日付

かわしま もとはる
【外科】河嶋 基晴



令和4年8月1日付

まつおか たいき
【眼科】松岡 大貴



【退任医師】

令和4年6月30日付
【産婦人科】中島 雅彦
【外科】小阪 周平
令和4年7月31日付
【眼科】森松 孝亘